



創立 135 周年



135 Years
1887-2022
明治20年 創立

学校法人高橋学園

千葉学芸高等学校

沿革 ～ 135 年のあゆみ

- 1887年(明20) 2月 1日 東金市の現在地に故高橋あい先生により「裁縫技芸塾」として創立される。
- 1903年(明36) 7月 7日 「東金裁縫女学校」として千葉県知事より認可。学校長高橋あい先生、校長高橋幸吉先生。
- 1931年(昭6) 2月24日 「東金女子高等職業学校」と改称、甲種実業学校として文部大臣より認可される。
- 1940年(昭15) 2月10日 学校長逝去(2月9日)により、高橋たい先生学校長に就任する。
- 1942年(昭17) 4月 1日 戦時非常措置により「東金女子農業学校」と校名を変更する。
- 1943年(昭18) 4月 1日 財団法人設立認可され、学校長高橋為忠先生、高橋たい先生副校長として就任。
- 1946年(昭21) 5月10日 生徒数増加により山武郡横芝町に移転、「横芝女子高等職業学校」と改称する。
- 1948年(昭23) 4月 1日 学制改革により「高橋高等学校」家庭科として改編する。
- 1948年(昭23) 6月15日 姉妹校として「高橋和洋裁学院」の設立を認可される。
- 1951年(昭26) 2月 1日 学校法人高橋学園として組織変更を認可され、高橋為忠先生理事長に就任する。
- 1953年(昭28) 3月20日 山武郡横芝町より、東金市に復帰する。
- 1958年(昭33) 4月 1日 校名を「東金女子高等学校」と変更する。
- 1959年(昭34) 4月 1日 「高橋和洋裁学院」を旭市に移転。「旭家政専門学院」と改編する。
- 1961年(昭36) 4月 1日 新たに商業科を併設する。
- 1961年(昭36) 8月 1日 木造校舎に代えて校舎鉄筋化工事に着手する。
- 1963年(昭38) 4月 1日 家政科(服飾科)、商業科(経理科)に加えて普通科を設置する。
- 1964年(昭39) 11月30日 校舎鉄筋化工事終了。鉄筋コンクリート造り4階建校舎2,572㎡完成。
- 1967年(昭42) 4月29日 高橋為忠校長先生、教育の振興に寄与したとして藍綬褒章を受章する。
- 1968年(昭43) 4月 1日 高橋美光先生学校長に就任する。
- 1968年(昭43) 5月20日 学校裏地2,046㎡買収する。
- 1969年(昭45) 1月10日 高橋たい副校長先生、多年にわたる裁縫研究書として「和裁」を出版。
- 1974年(昭49) 4月29日 高橋為忠理事長先生、私学振興の功により勲四等旭日小綬章を受章する。
- 1974年(昭49) 11月20日 学校裏山の運動場用地買収契約が成立する。学校整備5か年計画に着手。
- 1975年(昭51) 11月15日 鉄骨造3階建体育館1,400㎡完成する。
- 1975年(昭51) 12月26日 校舎東側の隣接地900㎡買収契約成る。
- 1976年(昭51) 3月16日 テニスコート用地1,750㎡を取得する。
- 1976年(昭51) 4月 1日 旭家政専門学院、専修学校に昇格する。
- 1977年(昭52) 3月31日 鉄骨3階建200㎡のテニス部クラブハウス完成する。
- 1977年(昭52) 11月25日 鉄筋5階建特別教室1,810㎡完成。
- 1978年(昭53) 8月10日 鉄筋2階建419㎡の玄関ロビー・読書研修室、鉄骨2階建113㎡の管理棟完成。
- 1978年(昭53) 9月 3日 三笠宮崇仁親王殿下が御来校になり、本校伝統の刺繍の授業を御覧になられる。
- 1978年(昭53) 10月26日 創立90周年記念パーティーを開催する。
- 1979年(昭54) 9月13日 運動場18,000㎡完成。
- 1979年(昭54) 10月 2日 第3校地(校舎前)558.27㎡を購入。
- 1980年(昭55) 2月 5日 運動場管理棟83.02㎡、体育教官室69.56㎡完成する。
- 1981年(昭56) 1月26日 学校食堂を開設する。
- 1981年(昭56) 7月 4日 運動場入口に本漸寺公園オープン。「堤灯松」の詩碑除幕式。
- 1982年(昭57) 5月28日 第4校地(校舎南側)743.8㎡購入。
- 1982年(昭57) 11月 1日 LL特別教室完成。
- 1982年(昭57) 12月11日 第1回生徒海外研修「ギリシャ・ローマへの旅」を実施。
- 1983年(昭58) 4月 1日 第2次学校整備5か年計画・創立100周年記念事業スタート。
- 1984年(昭59) 3月21日 鉄筋5階建普通教室1,558㎡完成。
- 1984年(昭59) 10月 8日 鉄筋4階建総合体育館4,766㎡竣工。
- 1984年(昭59) 11月 1日 コンピュータ・ルーム完成、53台のパーソナルコンピュータを設置する。
- 1985年(昭60) 11月 1日 鉄筋2階建管理棟317.90㎡完成。
- 1986年(昭61) 10月 1日 校内LANシステム完成。PCによる時間割掲示システム稼働。
- 1986年(昭61) 12月 1日 全天候型人工芝グラウンド4,000㎡完成。
- 1987年(昭62) 4月 1日 商業科を経理科、家政科を服飾科と改称。

1987年(昭62) 4月29日 校主高橋たい先生, 教育功勞により勲五等宝冠章を受章する。
 1987年(昭62) 10月17日 創立 100 周年記念式典, 祝賀会を挙行。
 1987年(昭62) 11月12日 全国私学教育研究集会千葉大会, 家庭分科会会場。
 1989年(平元) 1月 4日 第2 コンピュータ教室完成。55 台の PC を設置。
 1990年(平 2) 4月20日 理事長高橋為忠先生逝去(4月13日)により, 高橋美光先生理事長に就任する。
 1992年(平 4) 4月 1日 職業科を廃止して普通科に統合, 学校 5 日制実施。コース制導入(一般・情報・国際を設置)
 1993年(平 5) 2月20日 セミナーハウス完成。
 1993年(平 5) 4月 1日 制服を改定, 濃緑色のチャンネルタイプ。コンピュータによる色彩教育を開始。
 1994年(平 6) 4月 7日 サイクルポート, 多目的室完成。教室にエアコンを設置する。
 1994年(平 6) 11月28日 高橋美光校長先生文部大臣賞を受賞。
 1995年(平 7) 4月11日 インターネットに接続(文部省・通産省 100 校プロジェクト)
 1997年(平 9) 4月29日 制服改定, コシノヒロコ・オリジナルデザイン。
 1998年(平10) 5月 1日 高橋美光校長先生, 教育の振興に寄与したとして藍綬褒章を受章する。
 1998年(平10) 3月31日 校庭拡張工事終了。宿直, 管理棟完成。
 1999年(平11) 3月31日 調理実習室完成。学校食堂を移転して改装。第2世代校内 LAN 完成。
 1999年(平11) 4月 1日 高橋邦夫先生学校長に就任する。
 2000年(平12) 4月 1日 男女共学を実施, 校名を「千葉学芸高等学校」として新しいスタートをする。
 2000年(平12) 9月 1日 新校舎 A 館(鉄筋 4 階建 2,663m²) 竣工。
 2001年(平13) 3月27日 武道館(鉄筋 3 階建 977m²) 竣工, 太陽光発電システムを設置。
 2002年(平14) 8月 8日 全国高等学校ゴルフ選手権大会男子団体優勝。
 2002年(平14) 9月27日 第 57 回国民体育大会少年男子の部優勝。
 2003年(平15) 3月31日 CALL 教室完成, PC 50 台。
 2003年(平15) 8月11日 全国高等学校女子軟式野球選手権大会優勝。
 2004年(平16) 4月 1日 前期後期 2 学期制を導入, 芸能コースを設置する。
 2004年(平16) 11月 3日 高橋美光理事長先生, 教育功勞により瑞宝小授章を受章する。
 2005年(平17) 4月 1日 総合グラウンド 33,374m²(野球, サッカー, 陸上) 完成。
 2006年(平18) 3月31日 全校無線 LAN 完成。教授用 PC64 台配備。
 2006年(平18) 5月13日 総合グラウンド, クラブハウス完成記念式を開催。
 2006年(平18) 11月13日 第 1 回シンガポール修学旅行実施。
 2007年(平19) 2月 2日 創立 120 周年記念式開催。
 2007年(平19) 4月 1日 e ラーニングシステム導入。
 2007年(平19) 4月 7日 ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会グランプリ第 1 位。
 2009年(平21) 3月 4日 第 2 代校長高橋たい先生逝去。
 2009年(平21) 9月 1日 普通教室に 65 インチ大型液晶ディスプレイを設置し, 教室をハイブリッド化。
 2010年(平22) 5月16日 第 1 回オーストラリア修学旅行を実施。
 2012年(平24) 4月 1日 高橋邦夫先生理事長に就任, 高橋美光先生学園長に就任する。
 2012年(平24) 11月10日 創立 125 周年記念式典, 祝賀会を挙行。
 2013年(平25) 4月 1日 公務員コースを設置。国際コースを廃止。
 2013年(平25) 5月27日 校舎 BC 館屋上外壁大規模改修工事完了。
 2014年(平26) 3月31日 校舎 BC 館エアコン更新工事竣工。玄関ロビー・事務室改修。
 2014年(平26) 11月22日 宿直管理棟竣工。
 2017年(平29) 2月 1日 創立 130 周年記念式開催。
 2018年(平30) 3月31日 大型教具庫 247.08m²竣工。
 2018年(平30) 10月22日 中庭テラス竣工
 2019年(令 1) 6月10日 テニスクラブハウス改修工事完了。
 2020年(令 2) 1月16日 高橋邦夫校長先生令和 2 年歌会始の儀陪聴(皇居宮殿)。
 2020年(令 2) 3月25日 総合グラウンド部室棟竣工。
 2020年(令 2) 10月 1日 学習用タブレット PC (Chromebook) を全校生徒に貸与。550 台。
 2021年(令 3) 4月29日 高橋邦夫校長先生, 教育の振興に寄与したとして藍綬褒章を受章する。
 2021年(令 3) 5月 4日 春季千葉県高等学校野球大会初優勝(関東大会出場 5 月 22 日)
 2021年(令 3) 12月 1日 旭家政専修学校校長高橋敏子先生, 教育功勞により瑞宝単光章を受章する。
 2022年(令 4) 2月 1日 創立 135 周年記念式開催。



理事長・校長 高橋邦夫先生

第5代校長

1998年 理学博士

2021年 藍綬褒章受章

135年のチャレンジ

学校法人高橋学園 千葉学芸高等学校

理事長・校長 高橋 邦夫

本校創立135周年を迎えることができたことは、大勢の皆様方の御厚情の賜ものであり、深く感謝申し上げます。

1887年（明治20年）2月1日、現在地に故高橋あい先生が「裁縫技芸塾」を開校したのが本校の始まりです。それから明治・大正・昭和・平成・令和の激動の時代を乗り越え、貧困や存亡の危機をしのいできました。西暦2000年には、21世紀を展望し、男女共学化をしました。「学芸」の名は、創立時からの学問と技芸を重んじる校風に由来するものです。

本校の135年間は、女子教育に先鞭を付けた創立期に始まり、技能教育や特性重視の教育、国際、情報、福祉、芸能教育など、常に時代の最先端の教育に取り組んできた試行錯誤の歴史でした。新しい事に挑戦し、うまくいかない事は別の方法を試して、成功したものだけが残され、伝統の一部となります。伝統は不可侵ではなく、連綿と続けられた試行錯誤の成果の集積こそが伝統なのです。このチャレンジ精神が、教育に求められる不易と流行の両面を兼ね備えた本校の力強い校風を形作っています。

現在の教育界の中では本校の存在は小さいかもしれませんが、県下の高校教育の先駆者という意識と、「創造」という建学の精神のもとに、14,501名の卒業生に見守られ、また、大勢の人々の御支援をいただきながら、着実に向上への歩みを続けてきました。

少子化社会を迎えて私学経営の道は険しく、果てしなく遠い道のりです。135年の歴史は、新たに「これからの135年」への責務でもあります。135周年にあたり皆さまから寄せられた祝福と励ましのお言葉を新しいエネルギーとして、さらに、前進してまいります。



大津美恵 同窓会長

1981年卒業

創立135周年記念日に思うこと

千葉学芸高等学校 同窓会長

大津 美恵

千葉学芸高等学校創立135周年おめでとうございます。

近年の本校は生徒の皆さんの努力と先生方の献身的なご指導、そして保護者の方々からの絶大な応援のおかげで大きく発展しています。在校生・卒業生の素晴らしい活躍のニュースも見聞きするようになり大変嬉しく誇らしく思います。

私が入学した1978年度には創立90周年記念式典があり、歴史の重みを感じながら式典に臨みました。卒業後、教員免許を取得して母校の教壇に立つようになった1988年度に創立100周年記念式典が盛大に催され、その華やかさを今も鮮明に覚えています。退職後は卒業式や学園祭、125周年記念式典などにお招きいただき、とても嬉しい気持ちで懐かしい正門をくぐりました。節目ごとの

記念日に立ち合えることの幸せを感じています。同窓会員と共にこれからも母校の長い歴史は続くのです。

コロナウィルス感染症の流行という未曾有の危機の中、人類としての在り方を試されているような気がします。地球の歴史の中で幾つもの文明が起り滅亡を繰り返してきましたが、人類はいつでも負けずに新しい文明を創造してきました。

明けない夜はありません。

今はまだ寒い冬ですが、まもなく春が訪れます。春が来れば三年生は卒業してそれぞれの未来へと歩きだします。二年生は最終学年へ進級し、一年生は新入生が入学して「先輩」と呼ばれるようになります。

本校二代目校長の高橋たい先生の座右の銘「希望に起きて 感謝に眠れ」この言葉を心に留め、人生の時間を無駄にしないように大事に生きていきましょう！

母校の更なる発展と皆様のご活躍をいつも応援しています。

～ 学園の歴史 ～

創立者高橋あい先生は、1869年（明治2年）9月20日に現在の学校所在地に生まれた。幼い時に母を失い祖父母に養育された。1882年（明治15年）小学校卒業時には6回の優等賞を得ていたが、当時女子にはその後の進学先はなかった（高等女学校令は1899年に公布）。師匠について裁縫技芸を熱心に修行しつつ地域の学識者のもとで修身歴史を修め、1887年（明治20年）2月1日18歳で裁縫技芸塾を開き、近隣の子女を教えながら、父の生家の呉服屋から仕立物を請負って実力を磨いた。翌年に鈴木幸吉氏を婿に迎え夫婦で裁縫技芸塾に経営にあたり実績をあげた。裁縫の技芸ばかりでなく学問を教えるということで女子の進学先として人気があったという。創立者は裁縫の天才で、型紙に代えて製図法を導入するなど指導方法も工夫されていた。

1903年（明治36年）7月に東金裁縫女学校として設立の認可を受け、創立者は塾長から初代校長となり、幸吉氏は校主先生と呼ばれて夫婦で郷土の女子教育の先駆者として活躍した。2人とも研究熱心で裁縫・手芸・簿記・染色・生花・礼法等の勉強に千葉や東京に通い常に新しい技術の導入に努めた。幸吉先生は文化刺繍の発明者から直々に手ほどきを受け普及に努めた。あい先生は1926年（昭和2年）の大正天皇の大喪の礼に参列を許された際に、自分で制作した十二単の古代服を着用して出られたとのことである。明治後半から昭和初期まで和裁洋裁の裁縫技術や家政に関係する学問の修養を通じて当時の上中流家庭に有為な中堅婦人を輩出した。当時は県立女学校を卒業した人でも、その仕上げの教育、花嫁修業として本校に学ぶ者も多かった。

社会の進展に伴い婦人の勉強の内容も変化して、技能本位のものから更に学問的なものへと移り、1931年（昭和6年）2月に文部省認可甲種実業学校に昇格し卒業生の資格も県立高等女学校と同等のものとなった。同年10月に校名を変更し「東金女子高等職業学校」となった。昭和6年校内に愛敬幼稚園を開設、昭和7年九十九里に片貝幼稚園を設立し幼児教育も手がけた。昭和23年6月に専門学校高橋和洋裁学院を設立、後に旭市に移転して旭家政専門学校となった。

1942年（昭和17年）に戦時非常措置として「東金女子農業学校」に校名を変更。田畑を借りて食糧増産に取り組むことで、軍需工場への生徒派遣が免除された。戦後は校舎拡張のため横芝町に移転したがアイオン台風により校舎を失い東金市に復帰、「東金女子高等学校」として女子教育を展開した。修学旅行に飛行機を使用したり、ギリシャ・ローマへの生徒海外研修を実施するなど新しい教育に果敢に取り組んだ。1980年（昭和55年）にコンピュータ教室を設置、1995年（平成7年）には全国に先駆けてインターネット教育を開始するなど情報教育の先駆者として実績をあげた。

21世紀を展望して、2000年（平成12年）に男女共学の「千葉学芸高等学校」として新たなスタートをした。共学化初年度の入学生は65%が男子であった。現在は、学問と技芸を重視する校風を保ちながら、学業・スポーツ・文化活動での実績も向上している。



創立者 高橋 あい先生
初代校長
(1887.2.1 ~ 1940.2.9)



高橋 たい先生
第2代校長
(1940.2.10 ~ 1943.3.31)
1987年 勲五等宝冠章受章



高橋 為忠先生
第3代校長
(1943.4.1 ~ 1968.3.31)
1967年 藍綬褒章受章
1974年 勲四等旭日小綬章受章



高橋 美光先生
第4代校長
(1969.4.1 ~ 1999.3.31)
1998年 藍綬褒章受章
2004年 瑞宝小綬章受章

歴代の校舎



明治 30 年代初頭



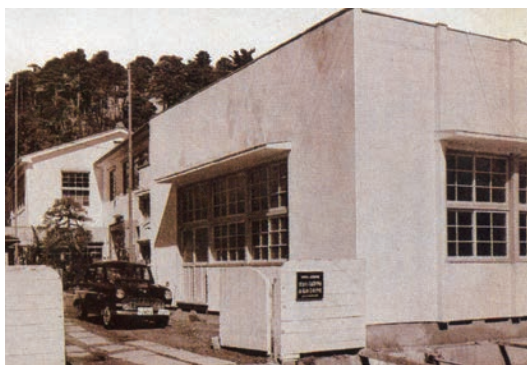
明治 35 年の校舎



昭和 15 年ころの校門



昭和 23 年アイオン台風による校舎倒壊



昭和 35 年の校舎



平成 24 年の校舎



昭和 59 年の校舎

学 校 要 覧

①建学の精神 “創 造”

学と芸とを練磨し、美しい人類文化の創造にあたる人材を育成する。

②教育目標

1. **心の創造** 強い精神力と思いやりの心
物事への集中や忍耐のできる強い意志を備えつつ、優しい思いやりも併せ持つ。
2. **智の創造** 知性と判断力
知性を磨き、知識を蓄積するのは正しい判断のできる理性を備えるためである。
3. **美の創造** 感性と技芸
美しいものを美しいと感じること、それを言葉や身体で美しく表現できること。

③職員の信条

1. 建学の精神を生かし、日本人の特性と校風を高揚せん。
2. 自己の誇りと責任を自覚し、全機能の發揮に当たらん。
3. 親和・協力の心を基とし、内容の充実を求めん。
4. よき社会人たる素質を磨き、生徒の進路に万全を期せん。

④卒業生数

裁縫技芸塾～東金女子高校

服飾科（家政科）4,719 名 経理科（商業科）1,811 名 普通科 4,570 名
千葉学芸高校 普通科 3,401 名 合計 14,501 名

⑤生徒数

	学級数	男子	女子	合計
1 年	5	138	62	200
2 年	5	127	55	182
3 年	5	124	55	179
合計	15	389	172	561

2021 年（令和 3 年）5 月 1 日現在

⑥教職員

専任教諭	専任講師	実習助手	講師	事務	計
36 人	2 人	1 人	11 人	6 人	56 人

⑦校地・校舎

校地 61,533.16㎡ うち運動場 45,484.62㎡
校舎 13,785.92㎡ その他の施設 1,825.50㎡ 合計 15,611.42㎡

⑧クラブ活動

委員会 4, 運動系クラブ 14, 文科系クラブ 9, 同好会 2 計 29



校章



三種の神器のひとつ八咫鏡（やたのかがみ）で縁どられ、5枚のナデシコの花弁の中央に、環状の珠（たま）と、高橋学園の高等学校として「高」の文字を配している。鏡・花・珠は、自省・才能・克己を象徴し、建学の精神「創造」を体する人間性の形成を願っている。

校歌

九十九里浜
千葉学芸高等学校校歌
作詞 高橋美光
作曲 平尾昌晃

一、青 — 海
緑 — 眩しく
ふるさととは どこしえに
生命をつくし 創造目指す
望み遙か 青春われら
未来を築いてゆく
世界を見つめてゆく
OH 輝け 青春われら
二、白 — 浜
燃える — 太陽
ふるさとよ ありがとう
血潮はたぎり 創造歓喜
夢は高く 青春われら
若さを ぶつけてゆく
自分を 信じてゆく
OH 憧れ 青春われら

位置

千葉県東金市。九十九里平野の中央部に位置する。



千葉県東金市 田間校地 32,346㎡
道庭校地 29,187㎡



CHIBA GAKUGEI HIGH SCHOOL

〒283-0005 千葉県東金市田間1999番地

学校法人高橋学園

1999 TAMA TOGANE CHIBA JAPAN
FAX 0475-52-1163

TEL 0475-52-1161

ホームページ <https://www.cgh.ed.jp/>